



奈良県経済の概況

横這いの状態

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 18 か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月ぶりの減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比 3 か月連続の減少

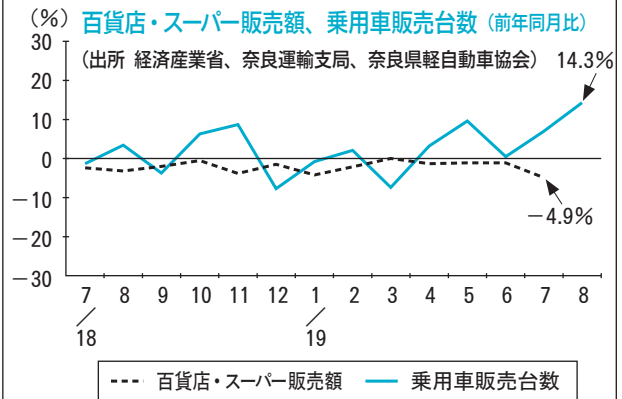
雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.05 ポイント低下の 1.48 倍

企業倒産 倒産件数は 2 か月連続の一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇

1 個人消費

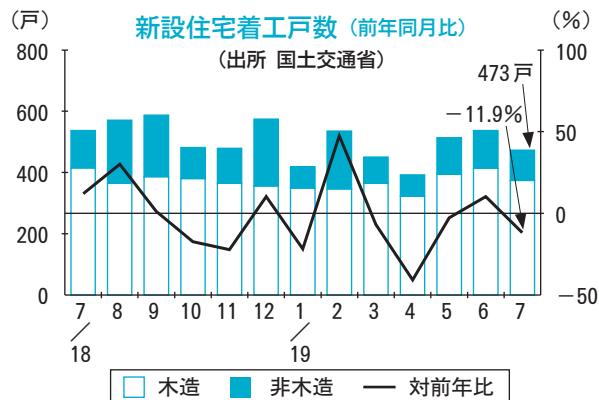
百貨店・スーパー販売額は前年同月比 18 か月連続の減少



- 7月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 4.9%減の 18,014 百万円で、18 か月連続の減少。
- 8月の乗用車販売台数は同 14.3%増の 3,541 台と、5 か月連続の増加。普通乗用車は同 7.9%増、小型乗用車は同 6.8%増。軽乗用車は同 26.0%増となった。

2 住宅着工

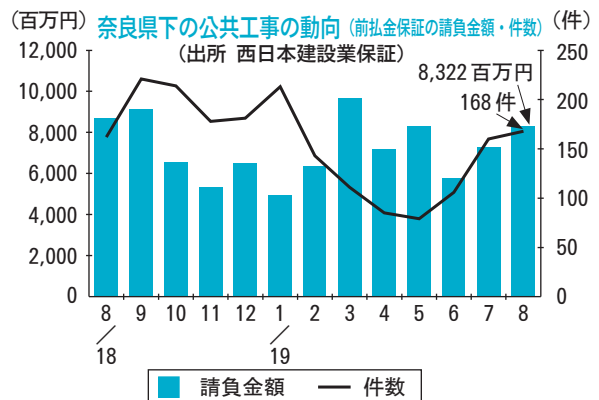
新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月ぶりの減少



- 7月の新設住宅着工戸数は前年同月比 11.9%減の 473 戸と、2 か月ぶりの減少。
- 利用関係別にみると、持家は同 9.2%増の 262 戸と 2 か月連続の増加、貸家は同 14.8%減の 98 戸と 3 か月ぶりの減少、分譲住宅は同 35.8%減の 113 戸と 5 か月連続の減少となった。

3 公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比 3 か月連続の減少

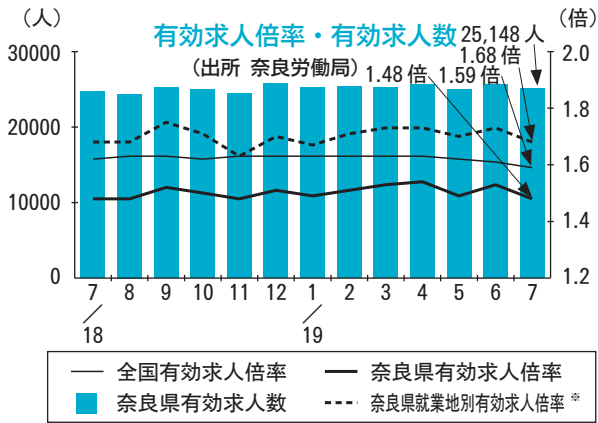


- 8月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比 4.5%減の 83 億 22 百万円と、3 か月連続の減少。
- 発注者別にみると、国は前年同月比 79.5%減、県は同 141.4%増、市町村は同 4.0%増。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比0.05ポイント低下の1.48倍

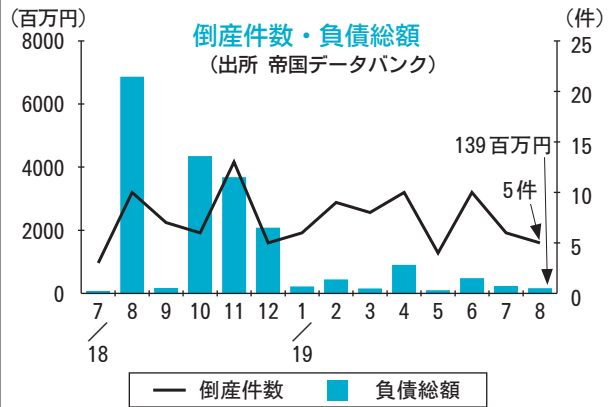


- 7月の有効求人倍率（季調値）は前月比0.05ポイント低下の1.48倍となり、2か月ぶりの低下。前年同月とは同率。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比0.01ポイント低下の2.20倍と2か月ぶりの低下。前年同月比は0.04ポイント上昇。

5

企業倒産

倒産件数は2か月連続の一桁台

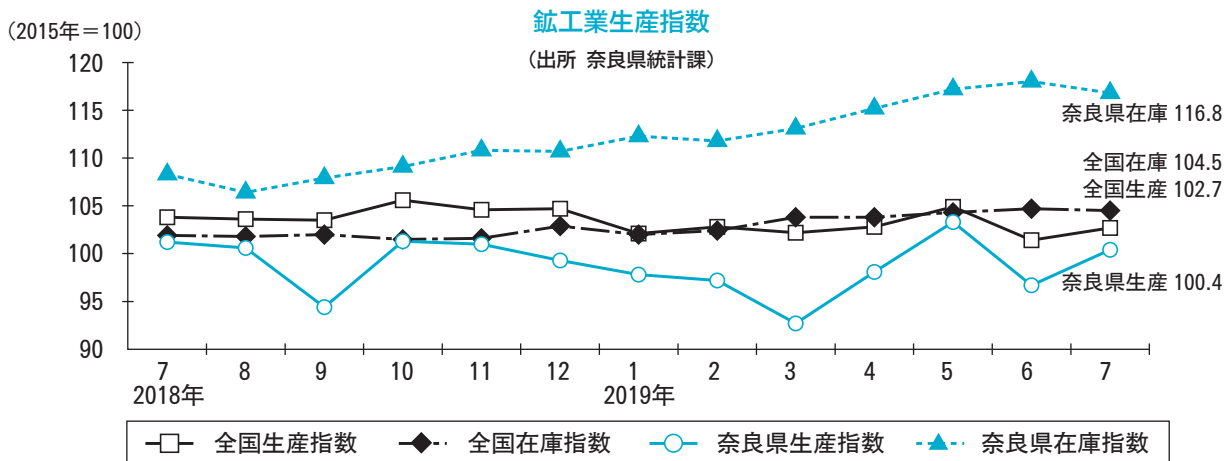


- 8月の倒産状況をみると、件数は前年同月比50.0%減の5件となり、2か月連続の一桁台。負債総額は同98.0%減の1億39百万円と2か月ぶりの減少。
- 業種別では、サービス業、その他が各2件、小売業が1件。倒産形態では、全てが自己破産であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比2か月ぶりの上昇



- 7月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比3.8%上昇の100.4となり2か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比0.8%低下の101.0となり2か月連続の低下。在庫指数は前月比1.0%低下の116.8となり5か月ぶりの低下。
- 業種別生産指数の動きは、金属製品工業、木材・木製品工業、輸送機械工業などの12業種が前月比上昇となる一方、その他製品工業、電気機械工業、汎用機械工業などの5業種が同低下。